

# 特色検査 問題別分析の見方

全設問を「何を読み」「どう考え」「どう表現するか」で分析します。

それぞれの特色検査の問題の性格を、より具体的に、わかりやすく説明するために、「問題構造図」を用意しました。すべての設問を分析し、難易度と性格を図にしたものです。

## Point 1 設問ごとに「形式」「内容(教科)」「種別」を表示します

まず、設問の形式を「選択」「記述」「計算」「説明」「論述」に分類します。

次に、使われる教科の学力をしめします。教科と結びつけにくい思考タイプのものは「論理」とします。

## Point 2 「読解プロセス」「思考プロセス」「解答プロセス」に分けます

問題を解くための過程は、つぎの3段階です。

「読解」⇒「思考」⇒「解答」

この3段階のそれぞれで、どれくらいの手間をかけるのか、また、特に難しいポイントがあるかどうかを、下図のように「色つきマスと略号」で表します。「思考プロセス」は、左から右に、標準的な手順で行われる思考パターンを、1つの作業ごとに1つのマスであらわします。

## Point 3 表を見れば、設問の難易度と性格がわかります

上のような分析を図式化しました。表の例を下にしめします。難易度のイメージをつかみたい場合、つぎのように見てください。

1) 色つき枠のマスが多いほど難しい、または手間がかかる

2) 表の右すみに、マスの数を数えた、かんたんな難度(数値)を用意しました。

まずおおまかにイメージをつかみ、その後でくわしく見てください。他の学校とも比較できます。

□問題分析表の見方

**Point 1**  
設問形式&教科

**Point 2**  
読解:入力パート

□ 読む(全てに共通)  
訳 翻訳(英・古文)  
デ データ読解  
難 特に難しい

**Point 2**  
表現:出力パート

左から右へ、手間がかかる度合いが進みます。

大設問	設問	分類	使用教科	読1 読2 読3			1 2 3 4 5 6 7							選択	記述	説明	論述	難度	
				□ 訳	□ 難	□ デ	□	□	□	□	□	□	□						□
課題2	設問1	記述	英国	□ 訳			□ 訳	□ 推	□ 文										7
	設問2	選択	国論	□ 難			□ 推	□ 変	□ 文										6
	設問3	説明	数国論音	□ デ			□ 推	□ 式	□ 算	□ 判	□ 推	□ 文							11
	設問4A	説明	国社論	□			□ 知	□ 推	□ 文	□ 知	□ 推	□ 文							10
	設問4B	論述	国社論	□			□ 知	□ 推	□ 文	□ 意	□ 推	□ 文	□ 難						12

**●データの見方:結論**  
色つきの部分が多いほど難しい、と考えてください。

**知** 知識を探す  
**訳** 翻訳(古文も)  
**式** 計算式を立てる  
**算** 計算

**変** 単位変換や図式化  
**推** 推理・推論  
**判** 判断(正否・大小など)  
**文** 文章の構成(作文)

**図** 作図・図形的思考  
**意** 意見をまとめる  
**難** 他の特に難しい要素

**Point 2**  
思考・判断パート

左から右へ順に進み、解きます。標準的な手順が多い(長い)ほど「難」。

**Point 3**  
色つき枠の合計数

この数値が大きいほど「難問」ということです。